

県立学校教員育成指標

ステージ 職 キーワード		養成	基礎・向上	充実・深化	発展①	発展②	発展③	
		教諭				主幹教諭・指導教諭	副校長・教頭	
		志・基盤	基礎・基本	主体性・専門性	高度性・指導性	経営参画、指導・助言	校務運営、補佐・管理	
		教員として、教育に対する志を高め、求められる資質・能力の基盤を形成する。	若年教員として、教育に関する基礎的・基本的な資質・能力を形成する。	中堅教員として、主体的に組織運営にかかわるとともに、教育に関する専門性を高める。	(前期) ベテラン教員として、組織運営を活性化するとともに、教育に関する経験や学びを生かし、優れた実践を展開し、同僚性を発揮する。 (後期) エキスパート教員として、磨かれた経験知をもとに、専門的で高度な実践を教育活動全般で展開し、指導性を発揮する。	主幹教諭・指導教諭として、教育や組織運営に関する専門的な資質・能力を身に付け、学校経営に参画するとともに、教職員に指導・助言を行う。	副校長・教頭として、校務運営に関する総合的な知見や資質・能力を発揮して、校長を補佐するとともに、教職員を適切に管理し、指導・助言を行う。	
教職としての素養	教育公務員に求められる基礎的な能力	法令遵守	法令を遵守することの重要性を理解できる。 不祥事防止に係る理解を深め、法令を遵守した教育活動を展開できる。			不祥事防止に係る指導的意識を高め、法令遵守の精神を教職員に指導し、適切に教職員を管理できる。		
	教育公務員としての使命感と責任	使命感と熱意	学校事務の内容について理解できる。	学級事務の正確・丁寧な処理ができる。	学級・学年事務の正確・丁寧で効率的な処理ができる。	学校事務の処理ができ、自らの役割に応じて教職員の事務について指導性を発揮できる。	経営の重点を踏まえて、教職員の能力に応じて事務等を分担し、教職員の事務について指導・助言ができる。	
	教育公務員としての使命感と責任	使命感と熱意	教育公務員の崇高な使命を理解し、志を立てることができる。	教育公務員としての自覚をもち、組織の一員として行動できる。	教育公務員としての自覚を深め、自らの専門性を磨き、分掌主任・学年主任等として同僚へ助言できる。	教育公務員のリーダーとしての自覚を深め、教職員に指導・助言ができる。	教育公務員としての崇高な使命について、全校的視座に立って指導・助言ができる。	
教職の実践	学習指導と評価の力	授業構想	学習指導要領の理念と内容を理解するとともに、授業のイメージをもつことができる。	学習指導要領の理念と内容に基づき、教科書の内容に応じた指導計画を立案できる。	学習指導要領の理念と内容及び自校の教育課程の編成方針に基づいた指導計画を立案できる。	学習指導要領の理念と内容及び自校の教育課程の編成方針に基づいた指導計画の立案に、指導性を発揮することができる。	学習指導要領の理念と内容及び自校の教育課程の編成方針に基づいた指導計画を立案し、教職員に指導・助言ができる。	「社会に開かれた教育課程」の理念の下、自校や地域の特色に応じた教育課程を編成できる。
		授業展開	授業展開の基盤となる教育技術を理解できる。	基礎的・基本的な指導技術を身に付けた授業展開ができる。	児童生徒の実態に応じて柔軟に授業展開ができる。	児童生徒の実態に応じた高度な実践を展開することができる。	児童生徒の実態に応じた授業展開を組織的に実践するための指導・助言ができる。	重点目標を具現化するために、カリキュラム・マネジメント及び授業展開への指導・助言ができる。
		授業評価と改善	学習評価の意義と方法について理解できる。	児童生徒一人一人の学習状況を把握し、適切な指導ができる。	適切な授業評価に基づく授業改善を主体的に行うことができる。	適切な授業評価と授業改善を組織的に実践するために指導性を発揮することができる。	適切な授業評価と授業改善を組織的・計画的に実践するためのカリキュラム・マネジメントができる。	授業改善の取組の評価と指導計画の改善を適切に行い、教育課程を管理することができる。
	生徒指導と集団づくりの力	児童生徒理解	児童生徒理解と指導の意義・重要性を理解できる。	学級の児童生徒を取り巻く環境や発達状況を理解し、児童生徒一人一人を支援することができる。	学年の児童生徒を取り巻く環境や発達状況を理解し、児童生徒一人一人を主体的に支援することができる。	児童生徒を取り巻く環境や発達の状況を多面的に理解し、学校全体での支援を主導することができる。	児童生徒を取り巻く環境や発達の状況を多面的に理解し、理解の方法や内容について教職員に指導・助言ができる。	児童生徒を取り巻く環境や、社会的背景、発達の状況等を踏まえた児童生徒理解を促進できる。
		指導・支援	個や集団に対する指導の基盤となる指導技術を理解できる。	保護者や校内組織と連携して、個に応じた指導ができる。	関係機関等と連携した学年全体の指導ができる。	関係機関等と連携した学校全体の指導について、指導性を発揮することができる。	関係機関等と連携した学校全体の指導について、具体的なコーディネートができる。	関係機関等と連携する体制の整備と連携の推進ができる。
	連携・協働力	学校組織の理解と参画	学校組織や校務分掌とともに、学級担任の役割と職務内容を理解できる。	学校の教育目標・重点目標、学級経営及び教科経営の方針を理解し、実践できる。	組織運営や教科経営に主体的に参画することができる。	組織運営や教科経営に専門性を発揮し、参画することができる。 プランの構築と具現化を主導し、職員に取組モデルを示すことができる。	連携、協働を大切にした組織運営や教科経営を積極的に推進し、重点目標具現化に向けて、学校運営に参画することができる。	校務運営についてのビジョンの策定及びプランを構築し、学校の組織力向上に向けて、校長を補佐することができる。
		自己啓発・人材育成	研修や自己啓発により、教員としての資質を高めることの重要性を理解できる。	自己の役割を自覚し、教育活動にかかわるとともに、研修を通して教育に関する基礎・基本を身に付けることができる。	自己の役割を自覚し、主体的に教育活動や、研修の運営にかかわることができる。	自己の役割を自覚し、校内研修で自己の経験や学びを生かして指導することができる。 エキスパート教員としての役割を自覚し、校内研修で示範的な働きかけができる。	自己の役割を自覚し、教育課程の機能化に向けて、教職員に指導・助言を行うとともに、校内研修を企画することができる。	自己の役割を自覚し、校務分掌組織の機能化に向けて、教職員の管理及び指導・助言を行うとともに、職能成長に向けたマネジメントができる。
		危機管理	危機管理の重要性及び危機を察知した際の組織的な行動の大切さを理解できる。	安全に配慮した教室環境等の整備と、危機を察知した際の迅速な対応ができる。	危機を予測した未然防止の取組と、危機の早期発見、早期対応を組織的に行うことができる。	学校全体を見通し、組織的で具体的な対応を主導し、助言することができる。	学校全体の状況や傾向を把握し、危機管理の観点から指導・助言ができる。	危機の未然防止のための学校環境の抜本的改善及び危機管理体制を整備することができる。
		保護者、地域等との連携	ボランティア活動等を通じて、保護者や地域連携の重要性を理解できる。	保護者、地域と積極的に関わり、連携・協働した対応ができる。	保護者、地域、接続校、関係機関と積極的に関わり、連携・協働した対応を主体的に行うことができる。	保護者、地域、接続校、関係機関と信頼関係をもとに、連携・協働した対応を主導することができる。	保護者、地域、接続校、関係機関との計画的な関わりをコーディネートできる。	保護者、地域、接続校、関係機関との連携・協働のネットワークの確立ができる。